

令和6年度岡山市男女共同参画大学 「さんかくカレッジ専門コース」の参加者を募集します

災害時に、被災者として、何を重視し、どう発想転換をし、どのように動けばいいのか。これからの防災対策について、男女共同参画の視点から、自ら考えて行動すること、互いに支え合う地域づくりなどについて学びを深めましょう。

1 日時

- (1)前期講座:令和6年7月6日(土)開講、11月9日(土)までの全7回
- (2)後期講座:12月～翌2月

2 場所

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」(北区表町)

3 内容

テーマ

「そのとき みんなが 被災者になる

～自分たちの暮らしを自分たちで守り、互いに支え合うために～」

4 その他

講座の内容、講師のプロフィールなど、詳細は別紙にてご確認ください
申込み期間…申込フォームから、7月5日(金)までに ※先着30名程度



【問い合わせ先】

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」 古林・平川 直通086-803-3355

「さんかくカレッジ」専門コース 令和6年度受講者募集！！



テーマ

そのとき みんなが被災者になる ～自分たちの暮らしを自分たちで守り、 互いに支え合うために～

今、災害が発生したら…。きっと、戸惑い、途方に暮れるだろう 私たち。
高齢者、障がい者、子ども、地域住民、企業やお店で働く人、行政職員、女性、
男性にかかわらず そのとき みんなが被災者になり、一人一人が自助・共助を
自分事としてとらえることの大切さが求められます。
被災者として何を重視し、どう発想転換をし、どのように動けばよいのか。
これからの防災対策について、男女共同参画の視点から、自ら考えて行動する
こと、互いに支え合う地域づくりなどについて学びを深めていきましょう。

期 日

【前期講座】テーマに沿った全7回の講座です。

①7月6日②7月21日③8月24日④9月14日⑤9月28日⑥10月19日⑦11月9日

*各回の詳しい内容については、次ページをご覧ください。

第2回以降は、ご都合に合わせてご出席ください。

【後期講座】参加型の講座でさらに学びを深めていきます。

12月～翌2月予定

募集期間

令和6年6月5日(水)～令和6年7月5日(金)

受講料

無料

応募資格

内容に関心のある方。

募集定員

30名程度

申込方法

受講申込書(裏面)に必要事項を記入し、郵送、FAX、E-mail、持参もしくは、
下の「受講申し込み二次元コード」から「さんかく岡山」へお申し込みください。

申込・問い合わせ先

申込〆切：7/5（金）まで



受講申込二次元コード

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」
〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号
電話 086-803-3355
FAX 086-803-3344
E-mail sankaku@city.okayama.lg.jp



そのとき みんなが被災者になる

～自分たちの暮らしを自分たちで**守り**、互いに**支え合う**ために～



被災者として何を重視し、どう発想転換をし、どのように動けばよいのか。これからの防災対策について、男女共同参画の視点で考え、一人一人が自ら考えて行動することとともに、互いに支え合う地域づくりについて学びを深める連続講座です。

前期講座 全7回
受講料無料

1 開講式・オリエンテーション 能登・真備 被災地の現状について

日時 7月6日(土) 10時～11時40分

講師 一般社団法人ほっと岡山 代表理事 服部育代
岡山市危機管理室 地域防災担当課長 井上義浩

概要

- ・令和6年度さんかくカレッジについて。
- ・お正月に日本中を震撼させた能登半島地震。真備地区を襲った未曾有の大水害。現地での支援にあたったNPO法人代表や市の職員が目撃した被災地の現状についてお伝えします。



2 また来る災害： 豪雨災害のことを“知ろう”!!

日時 7月21日(日) 10時～11時40分

講師 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 西山哲
岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 博士後期課程在学 金藤純子

概要

- ・近年の地球温暖化によって引き起こされる“豪雨”の実態を学びます。
- ・それとともに平成30年7月豪雨(西日本豪雨)から得られた“教訓”について学びます。



3 いざという時のご近所力!! ～日頃のつながりが自主防災組織の原点～

日時 8月24日(土) 10時～11時40分

講師 一般社団法人日本損害保険協会中国支部 防災博士 戸松悦子
男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」館長 篠原照明

概要

- ・岡山市における自主防災組織について。
- ・いざ災害が起きたとき、消防・警察・行政が動き出す前に私たちは何をすればよいのか。自主防災組織を立ち上げる為に、大切なことは、防災博士のわかりやすい話から学びます。



4 これから起きる災害： 南海トラフ大地震のことを“知ろう”!!

日時 9月14日(土) 13時30分～15時10分

講師 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 西山哲
岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 博士後期課程在学 金藤純子

概要

- ・南海トラフ大地震が発生したときの“被害”の実態を学び、これから起きる地震に対して必要な“備え”を学びます。



5

災害から自分と家族の命を守るために何ができるのか?: “避難”について学ぶ

日時 9月28日(土) 13時30分から15時10分

講師 特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山【うぶすな岡山】代表理事 徳田恭子
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 西山哲
岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 博士後期課程在学 金藤純子



概要

- ・考えてみよう!自分や家族を守る避難所って何?
- ・避難所運営ゲーム<HUG = H(hinanzyo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)>を体験します。

6

災害から自分と家族、ご近所の命を守るために何ができるのか?: 日頃の“備え”を学ぶ

日時 10月19日(土) 10時~11時40分

講師 小規模多機能ホーム「ぶどうの家真備」(三喜株式会社) 代表取締役 津田由起子
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 西山哲
岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 博士後期課程在学 金藤純子



概要

- ・ハザードマップの読み方を理解しよう。
- ・要配慮者マイ・タイムラインを作っておくことが大切。どこに、いつ、誰と、どうやって避難する?
- ・いざという時に必要なものとは? 安全・安心パックとは?

7

いつもの、もしもの岡山防災ハンドブックについて 学びの振り返り・閉講式

日時 11月9日(土) 10時~11時40分

講師 岡山市危機管理室職員
岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」職員



概要

- ・「いつも」の備えが、「もしも」で役立つ。「もしも」の体験が「いつも」の安心につながる。
- ・「岡山防災ハンドブック2022」をもとに、岡山の防災について学びのまとめをしていきます。

◎後期講座のご案内

前期講座にて学んだことをもとに参加者全員で成果物(パネルその他)をとりまとめしていくワークショップです。

※参加資格及び応募方法については改めてお知らせします。



日程(後日調整)	内容	講師など
令和6年11月	開講式 どのような成果物をどのような視点で作成するか決めていく。	西山哲さん 金藤純子さん 「さんかく岡山」職員
12月	成果物作成作業・経過指導	<検討中>
12月	成果物作成作業・経過指導	<検討中>
令和7年 1月	成果物作成作業・経過誘導	<検討中>
2月	受講者による発表会 閉講式	西山哲さん 金藤純子さん さんかく岡山職員

講師紹介

～皆様の参加お待ちしております～

●第1回 服部育代(はっとり・いくよ)さん●

一般社団法人ほっと岡山 代表理事

第1子出産後、東京にて子育て支援NPOに関わる中、母と子の防災啓発をテーマとした書籍の制作に関わる。2011年東日本大震災・原発事故をきっかけに岡山県へ移住。2014年、岡山市に支援拠点を設け、広域避難者支援に本格的に携わる。避難者支援から見えてきた課題を、災害前の平時からいかしていくために、防災・減災講座なども並行して始める。本職はグラフィックデザイナー。栃木県生まれ。



●第2・4・5・6回 西山哲(にしやま・さとし)さん●

岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授
一般社団法人ドローン測量教育研究機構 副代表理事

京都大大学院修了。民間会社勤務の後、同大助手、准教授を経て2013年から現職。岡山市浸水対策推進対策協議会会長、高梁川・吉井川水害タイムライン検討会座長など地域の防災・減災力向上の取り組みに関わりながら「被災工学」の研究・教育に従事。専門は自然災害科学・防災学。車載写真レーザ測量あるいはドローンなどのICRT技術による3次元モデルを活用した防災・減災技術の研究に携わり、地盤工学会、土木学会、情報地質学会および応用地質学会などの各種学会における論文賞を受賞。笠岡市生まれ。



●第3回 戸松悦子(とまつ・えつこ)さん●

一般社団法人日本損害保険協会 中国支部防災博士
(元 赤磐地区婦人防火クラブ会長)

岡山県自主防災組織支援講師団講師として活動。「中国支部防災博士」とは、自分の住む地域のリーダーとして防火、防災、防犯、交通安全など各種の活動を行い、ボランティアとして地域に貢献している。防災、減災のために日常の近所付き合いの大切さについて岡山県各地にて講演。近所の人と普段からコミュニケーションをとることがいざという時の助けになるということを身近な事例、自身のおすすめ防災グッズの紹介、紙芝居や寸劇などによりわかりやすく伝えることを使命としている。岡山市生まれ。



●第2・4・5・6回 金藤純子(かねとう・じゅんこ)さん●

岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科
都市環境創成学コース 博士後期課程在学
株式会社EnPal 代表取締役
(防災士/災害備蓄管理士/SC経営士)

神戸大学法学部卒。現在、岡山大学では、事前防災における自助・共助・公助の役割と防災まちづくりについて研究中。旅行会社の情報企画室、マーケティング室主任研究員を経て、流通小売業向けパッケージシステムの開発会社へ。2007年より専務取締役を務める。2018年西日本豪雨で自宅が全壊した経験をきっかけに2020年6月、EnPalを起業。防災研修、セミナー、体験イベントの企画運営を通じて防災啓蒙活動を行っている。倉敷市生まれ。



●第5回 徳田恭子(とくだ・きょうこ)さん●

特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山 代表理事

武蔵野美術大学専攻科卒、染色家として県内外で作品発表する傍ら、まちづくりや男女共同参画等のボランティア活動に携わり、2004年まちづくり推進機構岡山設立後、まちづくり・地域づくり・中心市街地活性化など人材育成の人づくりのワークショップのコーディネート。また、住民参加の防災マップづくり、避難訓練、避難所運営など地域住民による防災活動のコーディネートや講師など多岐に活動している。また、ユニバーサルデザインの啓発普及など、快適で安全・安心な岡山県の実現に向けて、行政、地域などいろいろな人が参加する協働のまちづくりをめざし活動。高梁市生まれ。



●第6回 津田由起子(つだ・ゆきこ)さん●

ぶどうの家 代表
サツキPROJECT 代表

1989年から7年間医療ソーシャルワーカーとして病院に勤務。介護保険開始以前の1996年ぶどうの家(宅老所)を立ち上げる。現在は倉敷市の船穂地区と真備地区で地域密着型サービスを中心に介護保険事業を運営している。
・西日本豪雨で小規模多機能ホームぶどうの家全壊。被災した地域の高齢者をケアし、その後災害時の避難の仕組みづくりである「サツキPROJECT」を設立。
・サツキPROJECTは、2021年2月、総務省消防庁「第25回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞」、令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰(消防関係)を受賞。岡山市生まれ。



..... 切り取り線

令和6年度岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」専門コース前期講座 受講申込書

ふりがな			年代(該当に○印)
お名前			10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上
住所	〒 ー		
連絡先	電話	FAX	
	e-mail ※お持ちの方は必ずご記入ください。変更・中止の連絡は、e-mail中心に行います。		
受講経験	岡山市男女共同参画大学さんかくカレッジの下記いずれかを受講したことがある。 ・基礎コース ・専門コース(前期) ・専門コース(後期) ※上記のいずれか受講経験があれば、該当するものに○を付けてください。		

*この申込書から取得した個人情報、「さんかく岡山」主催事業の運営に関する目的以外には利用いたしません。

◎前期講座第1回(7月6日)の参加が難しい方は、「さんかく岡山」までご相談ください。